



多度志の子

《学校教育目標》

『自ら学び たくましく生きぬく 子ども』

○自ら学び 最後までやりとげる子ども（知）

○よさを認め合い、助け合う子ども（徳）

○進んで体をきたえ、健康や安全に気をつける子ども（体）

【発行日】 令和7年（2025年）6月30日

重点目標 学校を自ら楽しくする多度志の子 ～主体性を大切にした教育活動を通して～

小さな学校の大きな交流

校長 渋谷 憲一

多度志小学校は、全校児童16名の小さな学校です。しかしながら、実に様々な地域の方々から支えられ、交流の広がりには大きな学校です。

6月7日（土）の運動会では、子ども達を応援するために、何倍もの数の方々が集まりました。応援だけではなく、保護者を含め、たくさんのお客様が、子ども達と一緒に種目に参加し、楽しく盛り上げていただきました。準備も含め、当日も多くの方々のご支援・ご協力があり、運動会が盛況のうちに開催できましたことに、紙面を借りてお礼申し上げます。



運動会だけではなく、多度志小学校が、あらためて地域との結びつきが深いことを実感したのが、6月19日（木）の「一日防災学校」です。



昨年度からコミュニティ・スクールの取組として、校区を流れる雨竜川などの氾濫を想定した避難所開設体験を実施しています。今回も、あらかじめ地域にご案内し、当日は20名を超える方にご参加いただきました。段ボールベットの組立や、レスキューフーズの準備など、大人の方々と協力し合って活動を進めることで、子どもの防災に対する意識も、より現実感が高くなりました。

「一日防災学校」を実施するうえで、自治防災係、消防署、学校運営協議会、参加されたみな様等、様々な地域の方々からご助力をいただき、本当にありがとうございました。

子ども達には、機会あるごとに、日頃からたくさんの方々に見守られ、助けていただいていることを話しています。感謝の気持ちを忘れないでほしいというのはもちろんですが、「自分たちが多くの人と関わっている」という自覚は、必ず子ども達をより広い交流の機会へと導いていくからです。自分たちが、やがて広い社会へ足を踏み出していくことを学ぶ大切なきっかけの一つが、地域の様々な方々やご家庭と連携・交流する場なのです。

これからも「地域の子を地域とともに育てる」ことをモットーに学校づくりを進めてまいります。地域およびご家庭におかれましては、引き続き連携をよろしくお願いいたします。

6月から新しいスタッフが増えました～宮嶋 華さんのご紹介

6月から多度志小学校で勤務させていただいております特別支援教育支援員の宮嶋華です。支援員として初めての学校が多度志小学校です。緊張も多くある中で、子どもたちが毎日笑顔で声をかけてくれたり、明るく元気いっぱいの様子を見せてくれたりして、私自身もたくさんの力をもらっています。まだまだ未熟な点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、子どもたちと真剣に向き合いながら、子どもたちとともに成長していけるように力を尽くしてまいります。よろしくお願いいたします。

全道的に子ども達の体力・運動能力には課題があり、本校でも目標には達していません。しかし、昨年の児童アンケート結果では、8割以上の子が「運動や体を動かすことが好き」と回答しました。体力テストでも、自分の目標に向かって再挑戦したり、お互いに声援を送ったり、前向きに頑張ろうとする姿勢が目立ちました。

6月18日(水)に今年度1回目の放課後教室を行いました。例年、基礎的な学習内容の定着と、自ら学習を習慣化していく意欲を高めるため、教育委員会が主催して実施しています。参加した子ども達は、教育委員会が用意したプリントをすべて正解するまで頑張っており、取り組みました。

毎年、学校や公園など身近な環境への緑化整備を進める「緑の募金」事業に協力するため、児童会役員書記局が全校に呼びかけを行っています。



7月7日(月)は参観・懇談日です。4月はじめの参観日から数えて約3か月。どの子もそれぞれ成長を遂げている姿をぜひご覧ください。

4月の参観日後に、「学年が上がり、下の子をサポートする場面がみられて良かったです」というご意見が寄せられました。ありがたいご意見に職員一同励まされます。

今後も、QRコードより貴重なご意見をお届けください。

[illegible]